



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場会社名 株式会社ジーニー 上場取引所 東
 コード番号 6562 URL https://geniee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 智昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中島 文樹 TEL 03 (5909) 8177
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	11,321	12.4	△213	—	△227	—	△336	—
2018年3月期第3四半期	10,073	—	369	—	328	—	△73	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △323百万円 (—%) 2018年3月期第3四半期 △73百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△19.03	—
2018年3月期第3四半期	△4.57	—

(注) 1. 2017年3月期第3四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であることから記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	4,808	2,914	60.4
2018年3月期	5,541	3,205	57.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 2,903百万円 2018年3月期 3,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2019年3月期の期末配当予想額は未定としております。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,026	4.5	△400	—	△418	—	△625	—	△35.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	17,733,200株	2018年3月期	17,508,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	70株	2018年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	17,673,378株	2018年3月期3Q	16,176,011株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は2019年2月14日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループのアド・プラットフォーム事業が属するインターネット広告市場は、スマートデバイスの普及・利用拡大等を背景に、データ連携可能な運用型広告やスマートフォン向け広告等へのニーズが引き続き高まっており、2018年のインターネット広告媒体費は前年比117.9%の1兆4,397億円まで拡大すると見込まれております（株式会社電通・株式会社サイバー・コミュニケーションズ・株式会社D2C調べ）。また、マーケティングオートメーション事業が属するデジタルマーケティングサービス市場は、One to One マーケティングに対するニーズの高まりやAI技術の進化等により、2018年の市場規模は前年比120.6%の452億円に達すると予測されております（株式会社矢野経済研究所調べ）。

このような事業環境の下、当社グループでは、引き続き強みである「技術開発力」と「事業推進力」を活かし、事業領域の拡大やサービス提供地域の拡大に取り組んでおります。

アド・プラットフォーム事業においては、サプライサイドビジネス（Google Products+「GenieeSSP」）にて、当社取引先である一部のアドネットワーク事業者様の広告配信ポリシーの見直しの影響を受ける中、引き続き大手メディアをはじめとした新規顧客の獲得や既存顧客のサポート等に注力いたしました。また、デマンドサイドビジネス（「GenieeDSP」）にて機能強化や代理店営業等を推進したほか、タクシー配車サービス向け広告配信プラットフォームを開発するなど、新たな取組みを進めてまいりました。この結果、同事業の売上は、9,749,971千円（前年同期比9.8%増加）となりました。

マーケティングオートメーション事業では、マーケティングオートメーション「MAJIN（マジン）」にて、既存導入企業の利用促進や新規顧客開拓等に取り組んでまいりました。また、2018年6月に事業承継したCRM（顧客管理）/SFA（営業管理）システム「ちきゅう」では、イベント出展やセミナー等を開催し、更なる需要開拓を進めてまいりました。なお、2018年12月末時点で「MAJIN」と「ちきゅう」の累計導入アカウント数は、約1,700社へ増加しております。この結果、同事業の売上は、825,980千円（前年同期比16.4%増加）となりました。

海外事業では、タイ拠点にて、現地経済環境の悪化による影響を受けた一方、インドネシアやベトナム拠点では、現地有力企業との連携強化や大型キャンペーン案件の受注が進展いたしました。ソフトバンク社と連携したサービスの開発提供にも引き続き取り組んでおります。また、2018年10月に株式を取得いたしましたAdskom India Private Limitedにつき、第3四半期より連結決算を開始いたしました。この結果、同事業の売上は、917,279千円（前年同期比15.3%増加）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,321,370千円（前年同期比12.4%増加）、EBITDA（営業損失+減価償却費+のれん償却額）35,529千円（前年同期比93.5%減少）、営業損失213,330千円（前年同四半期は営業利益369,365千円）、経常損失227,940千円（前年同四半期は経常利益328,525千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失336,356千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失73,904千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,808,512千円となり、前連結会計年度末に比べ732,542千円減少しました。主な要因は、現金及び預金が837,450千円、売掛金が803,815千円減少した一方、有形固定資産が346,338千円、のれんが390,953千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,894,074千円となり、前連結会計年度末に比べ441,512千円減少しました。主な要因は、買掛金が480,585千円、未払法人税等が123,536千円減少した一方、資産除去債務が125,195千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,914,437千円となり、前連結会計年度末に比べ291,030千円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が336,356千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、2018年11月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,541,801	1,704,350
売掛金	1,855,074	1,051,258
その他	112,023	181,643
貸倒引当金	△35,959	△14,797
流動資産合計	4,472,939	2,922,455
固定資産		
有形固定資産	319,186	665,525
無形固定資産		
のれん	27,312	418,266
ソフトウェア	385,008	237,654
ソフトウェア仮勘定	34,034	53,618
無形固定資産合計	446,355	709,539
投資その他の資産		
投資有価証券	59,799	115,031
その他	246,838	400,203
貸倒引当金	△4,065	△4,242
投資その他の資産合計	302,573	510,991
固定資産合計	1,068,115	1,886,057
資産合計	5,541,055	4,808,512
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,299,378	818,793
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	127,772	4,235
賞与引当金	59,812	36,239
その他	298,043	464,009
流動負債合計	1,885,003	1,423,274
固定負債		
長期借入金	250,004	177,256
資産除去債務	-	125,195
その他	200,579	168,347
固定負債合計	450,583	470,800
負債合計	2,335,586	1,894,074

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,519,561	1,532,724
資本剰余金	1,524,387	1,537,550
利益剰余金	159,527	△176,829
自己株式	-	△115
株主資本合計	3,203,477	2,893,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,419	△1,321
為替換算調整勘定	1,105	11,477
その他の包括利益累計額合計	△313	10,156
新株予約権	-	4,910
非支配株主持分	2,304	6,040
純資産合計	3,205,468	2,914,437
負債純資産合計	5,541,055	4,808,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	10,073,014	11,321,370
売上原価	8,285,549	9,829,049
売上総利益	1,787,465	1,492,321
販売費及び一般管理費	1,418,099	1,705,651
営業利益又は営業損失(△)	369,365	△213,330
営業外収益		
受取利息	759	750
助成金収入	2,000	200
匿名組合投資利益	4,086	-
その他	250	721
営業外収益合計	7,095	1,671
営業外費用		
支払利息	9,256	9,322
為替差損	8,523	4,049
その他	30,155	2,910
営業外費用合計	47,935	16,282
経常利益又は経常損失(△)	328,525	△227,940
特別利益		
事務所移転に伴う支度金	-	35,000
特別利益合計	-	35,000
特別損失		
投資有価証券評価損	275,653	-
減損損失	-	171,733
その他	-	1,851
特別損失合計	275,653	173,585
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,871	△366,526
法人税、住民税及び事業税	126,569	3,015
法人税等調整額	3,332	△35,911
法人税等合計	129,902	△32,895
四半期純損失(△)	△77,030	△333,630
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,125	2,725
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,904	△336,356

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純損失（△）	△77,030	△333,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,864	98
為替換算調整勘定	9,643	10,270
その他の包括利益合計	3,779	10,368
四半期包括利益	△73,250	△323,262
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70,066	△325,886
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,183	2,624

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。